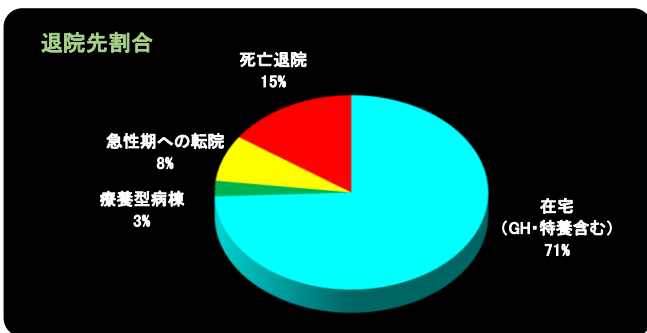


回復期リハ病棟診療統計データ(H30年10月～H31年3月)

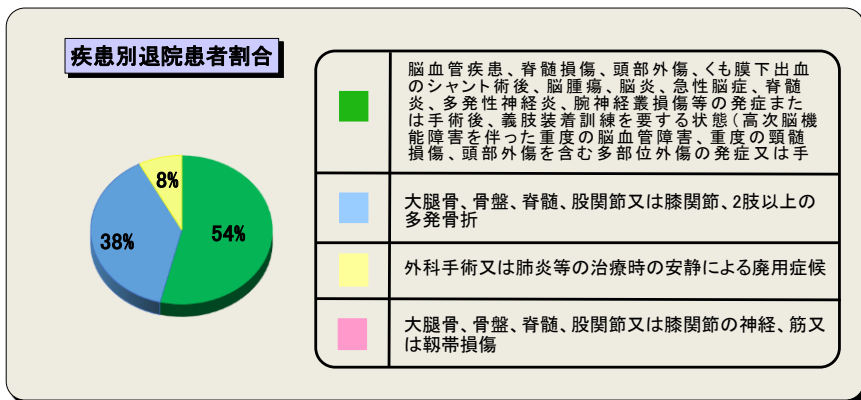


退院者数 (人)

在宅 (GH・特養含む)	29
療養型病棟	1
老健	0
急性期への転院	3
死亡退院	6
対象外疾患患者	3
計	42

退院者平均年齢 (歳)	78.0
-------------	------

※死亡・急性期への転院を除く在宅復帰率… **95.8%**

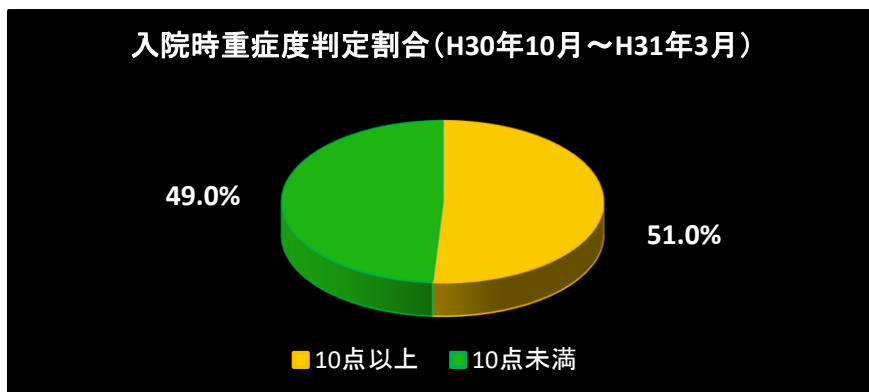


疾患別退院患者数 (人)

脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、腕神経叢損傷等の発症または手術後、義肢装着訓練を要する状態（高次脳機能障害を伴った重度の脳血管障害、重度の頭髄損傷、頭部外傷を含む多部位外傷の発症又は手	21
大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節、2肢以上の多発骨折	15
外科手術又は肺炎等の治療時の安静による廃用症候	3
大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷	0
計	39

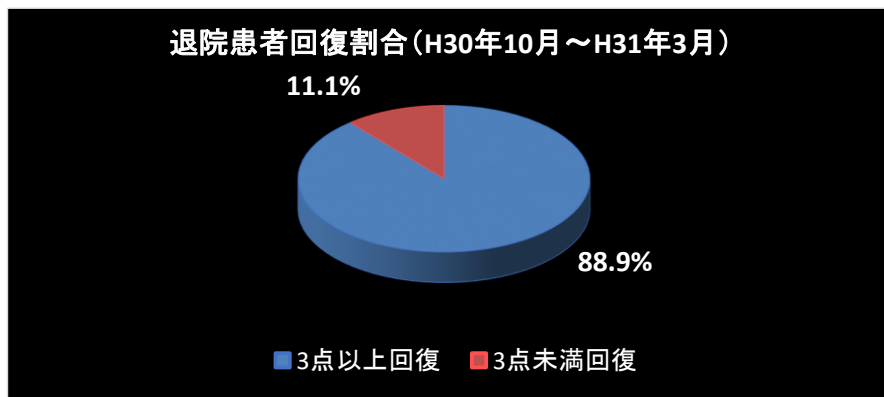
疾患別平均在院日数 (日)

脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、腕神経叢損傷等の発症または手術後、義肢装着訓練を要する状態（高次脳機能障害を伴った重度の脳血管障害、重度の頭髄損傷、頭部外傷を含む多部位外傷の発症又は手	92.9
大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節、2肢以上の多発骨折	88.1
外科手術又は肺炎等の治療時の安静による廃用症候	62.3
大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷	0.0
全体	60.8



日常生活機能評価

評価	人数
1 10点以上	25
2 10点未満	24
計	49



重症患者回復加算

回復状況	人数
1 3点以上回復	8
2 3点未満回復	1
計	9

回復期リハビリ病棟診療統計データ(H30年10月～H31年3月)

回復期リハビリテーション病棟 退院患者データ (H30.10月～H31.3月)

	脳血管系		整形外科系		廃用症候群		全体	
	当院	全国	当院	全国	当院	全国	当院	全国
入院時FIM(平均)	75.8	64.5	51.1	77.0	57.0	60.4	61.3	70.4
退院時FIM(平均)	107.1	85.6	81.5	98.8	85.0	76.0	91.2	91.4
FIM利得(平均)	31.3	21.1	30.4	21.8	28.0	15.6	29.9	21.0
実績指数	57.0	40.0	32.5	33.7	25.7	26.5	35.0	35.6
在院日数	101.2	85.4	81.7	56.2	89.5	56.1	90.8	69.3
在宅復帰率							95.8	78.3

【全体】

①全国データは平成29年度回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書(回復期リハビリ病棟協会出典平成30年2月刊行)を引用。

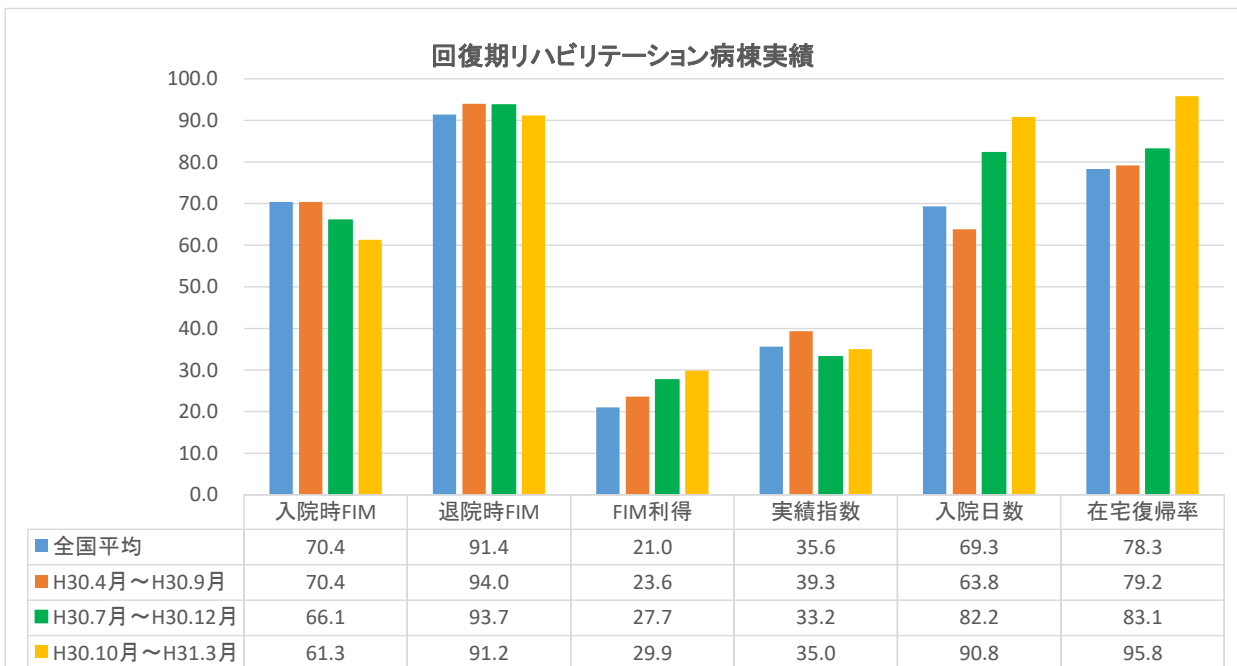
②FIM利得は全国平均に比べ8.9点高い。

③実績指数は全国に比べ0.6ポイント低い。

実績指数：回復期リハビリテーション病棟における直近の実績指数(平成28年3月4日保医発0304第3号)別添1第1章第2部第3節A308(12)イに示す方法で算出。

④在院日数は全国平均に比べ21.5日長い。

⑤在宅復帰率は17.5%高い。



※FIM(機能的自立度評価表): 実際に行っている日常生活動作の能力を評価したものです。全18項目を介護量に応じて完全自立～全介助までの7段階で評価します。点数が高いほど自立度が高くなります。

※FIM利得: 日常生活動作能力の改善値を示しています。(退院時FIM－入院時FIM＝FIM利得)